

学校だより

宝達志水町立相見小学校

令和4年3月1日(火)

No. 19

文責 清水ひとみ



相見小学校だより

めざす児童像 : 自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

6年生を送る会 6年生 ありがとう! これからもファイト! 「感謝」と「応援」の心がいっぱい ~2/25(金)~

学校のリーダーとして頑張った6年生に「ありがとう」の気持ちを届ける「6年生を送る会」を行いました。それぞれの学年の子ども達も、その学年ならではの出し物を披露しました。どの出し物にも6年生への「感謝」と、中学校でもがんばってねという「応援」の気持ちが込められていました。特に、準備から当日の進行・後始末まで、中心的役割を果たした5年生の姿は素晴らしく、本当に頼もしかったです。

★開会の言葉

実行委員長の中田孝岳さんが、堂々と立派にやり遂げました。会の目標の「お世話になった6年生へ、感謝の気持ちを伝えよう」を伝え、確かめ合いました。

★1年生:思い出の「たぬきの糸車」

大きな張りのある声と、工夫した身ぶり・手ぶりで、「たぬきやおかみさん」にすっかり成り切って発表しました。鍵盤ハーモニカで「とんくるりんぱんくるりん」にも挑戦し、成長した姿を見せてくれました。

★2年生:心をこめて「子ぎつね」「こぐまのダンス」の演奏他

鍵盤ハーモニカの演奏、きれいな歌声、工夫した呼びかけ・身ぶりを披露しました。鉄琴にも挑戦しました。力を合わせ頑張っている姿に、心が温かくなりました。

★3年生:45秒で何ができる?

体育の授業で練習したキレッキレ・ノリノリのダンスを発表しました。どの子も全力で踊る姿に、見ている側もワクワク楽しくなりました。

★プレゼントわたし

3年生から「エアーフローラ」、4年生から「メッセージカード」が贈られました。

★4年生:感謝の気持ちをこめて

「茶色のこびん」の合奏・歌あり、プレゼントありと、題名通り「感謝の気持ち」がいっぱいでした。プレゼントは「おまもり」と「キーホルダー」と「縦割り班のメンバー全員から書いてもらったメッセージ」です。「キーホルダー」は、6年生17人と担任の先生方のものを合わせると大きな桜の木になります。「相見小学校での思い出を忘れずに、中学校へ行ってもがんばってほしい」という願いが込められています。



司会の村山さん・松坂さん・南さん・金山さん・中田さん

実行委員長 中田さん



1年生



2年生



3年生



4年生



★5年生:6年生になるために

今日まで、本当によく頑張りました。運営係・プログラム係・会場係・出し物係に分かれ、自分の役割をやり遂げました。そして、出し物係の台本を基に、全員が自分の役を演じました。チームワークが輝いていました。頼もしくなったとつくづく感じました

★先生方より:ふるさと2022

「相見合唱隊シニア」による「ふるさと」の二部合唱で、前日に録画し披露しました。2題目からは相見小ならではの歌詞で、6年生一人一人の顔を思い浮かべながら、心を込めて歌いました。

★マーチング引き継ぎ式

6年中村優生さんから5年山本一翔さんに指揮棒が手渡されました。優生さんからの「相見小学校の伝統」という言葉と言葉に込められた思いも、一翔さんはしっかり受け止め、引き継ぎました。

★6年生:感謝をこめて

さすが6年生。アイデアを出し合い、考え工夫し、助け合い、見事な動画を作成しました。「あっぱれ」です。本当に楽しませてもらいました。いつの間に練習・撮影していたのかと驚きました。



★閉会の言葉

「今日は一か所に集まることはできなかったけれど、心はしっかりつながった、一つになったことが実感でき、とてもうれしい」という私の思いを、子ども達に伝えました。6年生への「感謝と応援」の思いがいっぱいの会になったことを、子ども達一人一人の姿から感じ取ることができ、胸が熱くなりました。最後に、頑張った友達と頑張った自分に、大きな拍手を送りました。



チームワークでやり遂げた5年生！ 達成感でいっぱいです！



マーチング引き継ぎ式
6年中村優生さんから
5年山本一翔さんに

令和3年度 石川県読書感想画コンクール
優良賞おめでとう！

羽咋郡代表作品として、相見小の6名の子ども達が描いた読書感想画が県の審査会に出品され、その結果が先日届きました。「頑張り」が伝わったのですね。

【優良賞】

＜低学年の部＞	1年	中村 星來	「うちに うちゅう人が やってきた」
		名倉 綾乙	「もうすぐ うちゅうへ しゅっぱつだ」
	3年	倉下 陽向	「楽しくおどる かいじゅうたち」
		寺分 朝香	「かいじゅうたちの パラダイス」
＜高学年の部＞	4年	川端 萌花	「お話が たくさんうまれる図書館」
		米田 侑生	「新しいほうきで とびたとう」



田辺とめさん 作
春を届けて
くださいました